

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 5 月 1 9 日

議 会 議 長 様

議席番号 1 1 番

議員氏名 原 田 壽々子

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1. 当町における教育委員会の体制に問題はないのか	現在、町の小中学校は、小学校 6 校と杉戸中学校と新設されました杉戸南中学校があります。 当町の小学校の児童総数は 1, 7 1 8 名、中学校の生徒総数は 9 6 0 名。対して、教職員数は小学校で 1 2 3 名、中学校で 6 4 名となっています。教諭数でみると、小学校 9 4 名、中学校 5 4 名となっています（令和 7 年 4 月 1 日現在）。この 8 校を統括運営する立場として、教育委員会があり、中でも、学校教育の根幹を担いリードする大変重要な部署が学校教育課であり、現在 7 名在籍していると認識しています。杉戸町の教育をよりよく維持発展するために、教育委員会の体制について伺います。 （１）学校教育課長の等級は何級で、校長職の等級とどのような関係になっているのか。 （２）歴代の学校教育課長の中に校長経験者はいないという認識だが、任用基準や方針はどうなっているのか。 （３）学校教育課長が実質的に教育長の次に教育行政を支える重要なポジションであるにもかかわらず、実質的には校長と対等とは言い難い、校長経験のない職員がその職務につくことを通例化しているが、この構造的問題に対する町の見解は。 （４）学校教育課の組織は「主幹兼指導主事」が 1 名体制である。町全体の教育の質を図る横断的・行政的役割の中で校長よりも立場が上になってしまうが、うまく機能していると断言できるのか。行政職との兼務に無理はないと言えるのか。	町長 副町長 教育長 学校教育課長 教育総務課長 総務課長 担当課長

5 月 1 9 日 午前・午後 1 0 時 0 0 分 受理

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
2. 義務教育学校は当町でも可能か	(1) 少子高齢化により西小学校と高野台小学校との統合が令和10年に予定されている。これは決定事項として捉えてよいのか伺う。 (2) 幸手市では「義務教育学校」の準備が着々と進められている。町長が目指す当初マニフェストとされていた、「小中一貫校」とは、実は「義務教育学校」の間違いだったのではと推測する。幸手市のこの動きについて、教育長・町長の見解は。 また、杉戸町でも、西小学校と高野台小学校と杉戸中学校を一体的にとらえて、義務教育9年間の学校教育目標を設定し、9年間の系統性を確保した教育課程を編成・実施する「義務教育学校」とすることは可能なのか伺う。	町長 副町長 教育長 教育総務課長 学校教育課長 担当課長
3. 学校現場の見える化を	昨年、我が会派創新で学校の通常のクラス参観を要望したところ、杉戸小学校の千葉校長先生が、快諾してくださった。私たちは、教育活動の監視や査察が目的ではなく、GIGAスクール構想から5年、ありのままの授業風景を、一人一人バラバラで、緊張させないように配慮しながら、1か所ないし2か所ずつぐらいをじっくり参観したかったのが本音である。 そこで、議員に限らず、授業の様子を見学したい等の要請があった場合の受け入れ態勢や、受け入れに対する方針等はどの様になっているのか伺う。	町長 副町長 教育長 学校教育課長 担当課長